

内部地区自主防災協議会

発行日 令和7年11月28日

令和7年度各町春の防災訓練結果（訓練実施結果報告書を基にまとめました）

自治会名	実施日	参加人数	訓練内容	黄色いフェルト実施結果	実施状況の写真
貝家町	5月24日	自治会37名 消防分団5名 合計42名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練	—	
小古曽町	5月25日	自治会82名 消防分団8名 市民センター3名 その他5名 合計98名	・初期消火訓練 ・避難所運営訓練 ・地震体験車による体験実習 ・炊き出し訓練	—	
高塚町	6月1日	自治会860名	・黄色いフェルト安否確認訓練	—	
泉町	6月1日	自治会 37名	・災害対策本部運用訓練 ・避難、誘導訓練 ・黄色いフェルト安否確認訓練	52/92	
中堀町	6月1日	自治会40名 消防分団4名 合計44名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・避難誘導訓練 ・避難行動要支援者対策訓練	—	
采女が丘	6月8日	自治会19名 消防分団5名 合計24名	・初期消火 ・応急手当訓練	—	
采女町西部	6月8日	自治会130名 消防分団5名 合計135名	・初期消火 ・応急手当訓練	64/168	
采女町中部	6月8日	自治会50名 消防分団5名 合計55名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・黄色いフェルト安否確認訓練	149/258	
波木町第三	6月8日	自治会 39名	・避難誘導訓練	—	
南小松町	6月8日	自治会133名 消防分団5名 合計138名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・避難誘導訓練 ・炊き出し訓練 ・黄色いフェルト安否確認訓練	—	
采女町南部	6月9日	自治会30名 消防分団3名 合計33名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練 ・災害対策本部運用訓練 ・避難誘導訓練 ・炊き出し訓練	—	
波木町第二	6月22日	自治会11名 消防分団7名 合計18名	・初期消火訓練 ・応急手当訓練	—	
北小松町	7月6日	自治会 28名	・防災研修会（能登半島地震の体験談を基に座学の研修会）	—	
森力山	7月12日	自治会 19名 その他 1名 合計 20名	・初期消火訓練 ・避難誘導訓練	—	

令和7年度自主防災協議会役員及び各組織

(敬称略)

<役員>

会長=東川 日出夫
副会長=三谷 新市、栗本 孝則
書記=堀川 宜典
会計=堀 完治
幹事=堀 育夫、川口 健、小川 雄輔
減災アドバイザー=近藤綾

<各部部長・書記>

- ・防災教育訓練部（18名）
部長=三谷 新市 書記=堀 哲次
- ・防災設備部（22名）
部長=和田 博 書記=横山 昌登
- ・防災広報部（19名）
部長=木立 美千代 書記=前田 徹
- ・女性防災部（ドリームステップ）（8名）
部長=木立 美千代 副部長=竹内 美保子

<災害対策本部組織（班長・副班長）>

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| ・情報班
班長=太田 陽康 | 副班長=堀 孝年 |
| ・連絡調整班
班長=東川 稔 | 副班長=谷 勝弘 |
| ・救援物資
班長=藪下 秀樹 | 副班長=水谷 正彦 |
| ・ボランティアセンター
班長=飼鳥 浩行 | 副班長=矢田 千歳 |
| ・避難所担当、浄水班
古市 直也、前川 典子、瀬戸山 力 | |



※令和7年度は上記の役員で運営を致します。

※内部地区的皆様のご協力を宜しくお願い致します。

自主防災協議会



第40号

第59回四日市市消防団消防操法競技大会

実施日時：令和7年7月20日（日）午前8時30分～
実施場所：四日市市総合防災拠点（神前地区寺方町）
☆6月中旬から仕事が終わった後や早朝から、練習を重ねてきた内部分団。放水技術や動作の機敏さなどを競う1～2分間の競技内容はとても迫力のあるものでした。大会を終えて分団の絆がより一層深まったと思います。暑い中、本当にお疲れ様でした。



=出場メンバー（自治会名）=
高橋 翔太さん（采女が丘）
藤田 祐希さん（小古曽町）
尾崎 航大さん（采女が丘）
中川 勝悟さん（貝家町）
古市 健 さん（采女町西部）
以上5名の方です。



令和7年度自主防災協議会主な活動計画

協議会本部	・総会の実施 ・拡大役員会の実施 ・地域活動の推進 ・各自治会との連携強化
	・総合防災訓練の実施 ・訓練の反省会・アンケートをまとめること ・防災に関する住民意識向上のための教育活動 ・防災講演会・防災研修会・防災教育資料作成
防災教育訓練部	・防災教育訓練部
防災広報部	・広報誌「自主防災協議会」の発行 ・防災展示会の開催（教育訓練部と合同） ・防災カレンダーの作成、全戸配布 ・地区文化祭での防災対応
防災設備部	・防災倉庫の点検実施（毎月） ・浄水器の取り扱い訓練の実施 ・応急給水栓の取り扱い訓練の実施

夏休み子ども防災教室開催されました！

- ・実施日時：令和7年8月4日（月）午前9時30分～11時30分
- ・実施場所：内部地区市民センター本館1階会議室
- ・参加者：内部地区の子どもたち 12名とその保護者
- ・内容 ①子どもの防災ずきんを作ろう ②新聞紙スリッパを作ろう



防災ずきんの中に入れる物を考える



ていねいに新聞紙で包む



新聞紙で中身は見えなくなる



大きなビニール袋にいれる



バスタオルでくるんで出来上がり！



もし靴がなかったら新聞紙スリッパ

暑い夏休みでしたが、元気に12名の子どもたち、そして保護者の方々も来て頂きました。今年は、いざという時に慌てないよう「防災ずきん」を作ることにしました。

はじめて針を持つ子もいましたが、子どもたちはとても意欲的で、自分で縫うことをしていました。

この防災ずきんは、ずきんの中に歯ブラシやマスクを入れたり、避難用品を収納できる便利な防災ずきんです。今回、中身はこちらで用意しましたが、おうちで家族の分を作つてもらえると幸いです。

また、避難所で靴がない時のため、新聞紙スリッパの作り方も伝えました。

子どもたちが防災に関心をもってもらうことで、保護者にも防災意識が高まれば嬉しいです。今後も夏休み防災教室を続けていきたいです。「ドリームステップより」

～采女町 三昌運輸倉庫株式会社様より

寄付をいただきました～



地域に防災用品を私募債活用し寄付を・・・

運送倉庫業「三昌運輸倉庫」は、社会貢献型私募債を活用して、内部地区自主防災協議会に、折りたたみヘルメット、LEDヘッドライト、乾電池を寄付していただきました。

「社会インフラの物流を担う地元企業として協力することは当然。会社を避難場所として提供するなど、災害時の連携も深めていきたい。」と、あいさつをいただきました。



三昌運輸株式会社社長と東川会長



寄贈の品と、関係者の方々の集合写真